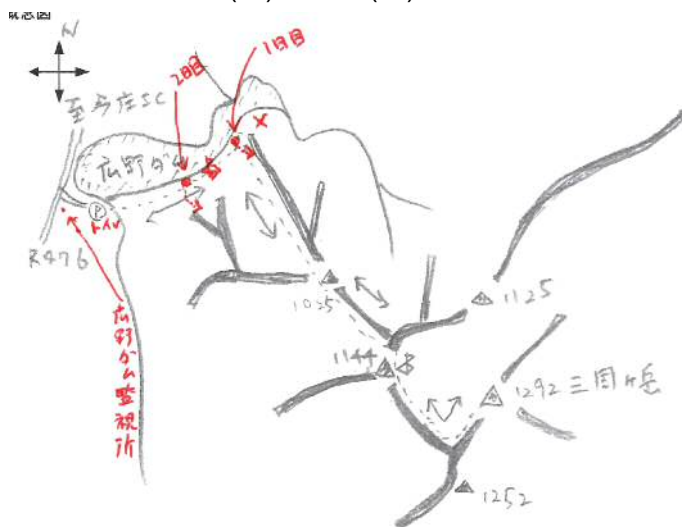


三周ヶ岳

2024年1月27(土)~28日(日) L: 齋藤 非: 花村



1月27日(土)

雪山シーズン毎に旧会員の花村氏と共に奥美濃の山へ向かっている。今年は福井と岐阜の県境、三周ヶ岳。

今回もバリエーションルートなので、事前にルート打ち合わせを済ませてからこの日を迎えた。ダムの上端近くまで林道を歩き、そこから山に取り付く。尾根伝いに登って、最後は南から回り込むように山頂を目指す。尾根筋が他よりもシンプルで下山時の道迷いリスクが減るであろうという判断からこのルートとした。

山行前の24日、東海地方を中心に記録的な大雪を観測し、その数日後に名神高速が復旧した直後の山行であった。最寄りの降り口は北陸道の今庄ICであるが、道中のPAやSAではまだ自衛隊の車輛が多く見受けられた。(元旦の能登地震関連

かもしれないが。)

幸い公道の除雪は済んでおり、予定通り広野ダムに到着。計画ではダムのトイレ前に駐車するつもりであったが、ダムから先は除雪されておらず進入不可。ダム監視所の方をお願いをして構内に停めさせてもらった。



構内からダムを見渡せる

監視所から登山を開始。湖畔沿いに歩いていく。雪の深さは20~30cm程度。ノ

ートレースなので一步一步踏みしめながら進んでいく。

歩き始めて2時間半。やっと目標の尾根末端まで辿り着いた。地形図で見るとこのポイントの傾斜が一番緩やかであったが、なんと法面がコンクリートで固められていたため取り付けできず。



ぐるりと固められています

東側は諦め、尾根の西側に引き返す。ちょうど谷の部分でコンクリートが切れていたのだからそこから取り付いた。



取り付けポイントを探すのも楽しい

もちろん谷沿いに歩くのではなく、登るのはすぐ右の急な斜面。掴める物は全部使いながら登っていく。それにしてもブッシュがひどい。もう少し積雪がある

と登りやすいのかもしれないが、歩き難くてかなり時間がかかる。

取り付きから約1時間。これが永遠に続くのかと思うと二人とも意気消沈。「ルート選定を間違えたね」と共に妙な納得をして下山することにした。



狭いし歩き難い!



振り返ると広野ダム。きれいでした。

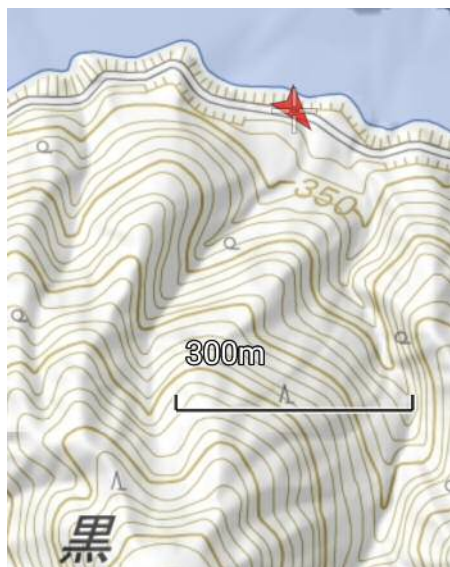
湖畔沿いまで戻り、西に歩いたところ

に少し開けたところがあったのでそこを本日の幕営地とした。

その晩、宴会をしながら今後どうやってこの山を攻略するか検討した。ひとつ手前の尾根から取り付き、黒谷山を経由して途中で第一計画の尾根に合流する案。第一計画よりも下山時の支尾根間違いというリスクは増えるが、林道 2 時間半が 1 時間程度で済むならそれもよし。来シーズン以降に実施する第二計画が完成し、お酒もすすんでぐっすり就寝。

1月28日(日)

せっかく現地にいるので、今日はその取り付きポイント周辺を確認することにした。これまた谷筋の東側から尾根に取り付くが、昨日よりも傾斜は緩やかだった。当然のようにブッシュはあるが歩みは早い。1 時間程度登っただろうか。満足して下山した。次はやっぱりここだ。



次はここから

滅多に人が入り込まないであろう渋い山、三周ヶ岳。今回歩くことが出来た部分は全行程の 1/8 にも満たない。来季は何分の 1 まで進むだろうか。そもそも 1 泊 2 日で攻略できる山ではないのかもしれない。きっと何季もかけて挑戦して、この山のことが分かってきた頃に山頂に立てるのだろう。一つの山に向き合う。そんな山の楽しみ方もすごくいい。あ、監視所の方、次は車を置かせてくれるかなあ。そこが心配の種である。

<タイム>

1 日目

広野ダム監視所 P(9:30)-ダム東端尾根東側取り付き(11:55)-東端尾根西側取り付き(12:05)-撤退(13:05)-湖畔にて幕営

2 日目

幕営地(8:40)-黒谷山への尾根(下見)-広野ダム監視所 P(12:25)

(齋藤 記)